



社会福祉法人尚徳福社会 日野保育園 2020年12月

12月に入って日に日に寒さが増し、冬らしさを感じられるようになってきました。子どもたちは、戸外でめいっぱい身体を動かし、時にはひたいにうっすらと汗をかきながら遊んでいます。風邪や感染症が増える時期ですが、よく食べ・よく遊んで元気に過ごし、楽しい年末年始を迎えられるようにしていきたいと思います。今年度はコロナウィルスの影響で行事や交流などの中止など、例年とは違う一年となってしまいましたが、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。来年も健康で、笑顔の溢れた素敵な一年となりますよう願っております。よいお年をお迎えください♪



☆お楽しみ会ごっこ、楽しみだね☆

今年度は『お楽しみ会ごっこ』となりましたが、子どもたちのやる気は満点!!劇に歌・合奏と全力で取り組んでいます。劇は、絵本を読んでからお気に入りとなった『おしゃべりなたまごやき』でお話作りをしています。何を言っても返事が「あ、うん」の王様の真似をして、日常の中でも、保育者：「王様、今日の給食は〇〇です」子ども全員「あ、うん」、保育者「王様、〇時になったらお片付けしましょう」子ども全員「あ、うん」なんてやりとりがある程夢中になっています!!毎日「今日も王様ごっこしよう♪」と張り切っている子どもたちです。どんな劇に仕上がるか…ご期待ください☆



☆うんとこしょ!!どっこいしょ!!おもほり☆

日野高等支援学校で、地域の方と一緒におもほりをしました。「おももの宝探し!!がんばるぞ~!!」と、学校へ向かう道のりから気合い十分な子どもたち。刈り取られたツルの、ちょこんと残った部分を頼りに一生懸命に掘っていました。大きなおもが出てくる度に「やったぞー!!大物ゲットだー!!」と大喜びでした☆持ち帰ったおもはスイートポテトやお芋ご飯など、いろいろな料理に変身したとのこと、嬉しそうに話してくれました。そして、翌週には園舎横の畑で苗から育てたおもを、すみれ組が収穫することになり、そのお手伝いをしました。「もう少し掘ったらでてくるよ」「いいお芋掘れたね!!良かったね」と声掛けをしたり、深い部分を掘るお手伝いをしたりしていました。苗から育て、葉を食べる虫を捕まえ、雑草抜きをして…半年間大切に育てたおも。その収穫を喜ぶすみれ組の姿を、温かい眼差しで見るひまわり組の姿に、成長を感じた一場面でした。

☆みんなおんなじ『命』だね☆

11月2日の移動動物園では、羊やポニーなどの大きな動物から、うさぎ・モルモット・ひよこなどの小さな動物まで…たくさんの動物と触れ合いました。カブト虫を飼育したり虫を捕まえたりする中で『命』の大切さや儚さを学んだ子どもたち。動物達に優しく触れながら「命だもんね!!」と話していました。そんな中子どもたちが発見・気付いたことを紹介します☆

ヤギの舌はちょっとふわっとしていた・ヤギや羊はあまり口を開けずに横に動かしながら食べ物を噛む・モルモットはダンゴ虫のように体を丸める・生まれたての鶏の卵は温かくてちょっとピンク色をしている(卵が生まれる瞬間は残念ながら見られなかったのですが、貴重な体験ができました☆)